



福田っ子だより

福田小学校たより 第8号 2024年3月18日発行

令和5年度修了式 式辞

竹のように しなやかに 強く

今日は、令和5年度の学習が終わる日です。

先ほど、代表の人に、修了証書を渡しました。この修了証書は、皆さん一人一人が、それぞれの学年の学習に取り組み、その学年のすべてを学び終えたことを証明するものです。皆さんはこの1年間でよく頑張り、福田っ子らしく明るい笑顔で一人一人が成長したと思います。

さて、本年度最後の話です。みなさんは、

竹という植物を知っていますか。「かぐや姫」のお話に出てきますし、日本が誇る、世界的に有名なポケモンの中にもデザインされたものがありますね。福田にも、いろいろなところに竹藪があります。



この竹が、他の植物と大きく違うのは**節がある**ことです。そして、目に見えない

地面の下で、しっかりと**茎がつながり**あっているのです。節があることで、

すごいスピードで空にまっすぐ伸びていくことができます。また、地下でつながり合っているので、どんなに強い風がふいても決して折れることはありません。

だから**しなやかで強い**のです。私は、皆さんに竹のようになってほしいと

思います。一人一人はしっかり節を作ってまっすぐ伸びていく。そして、みんなが仲間として手を結び合っている。そんなクラスや学年・学校を作ってほしいと思っています。この春休みは、竹のように自分の節をつくる時間です。節は誰かが作ってくれるものではありません。節を作るのは自分自身です。今日、担任の先生からもらう「あゆみ」を見たり、家族と話し合ったりしながら、しっかりと自分を振り返ってください。

この1年間を振り返ると、楽しいことばかりでなく、つらいことや苦しいこともあったかもしれません。でも、皆さんは、そこから逃げないで一生懸命にやってきました。いやなことでも、それを乗り越えると節ができるのです。



「練習したら縄とびや逆上がりができるようになった」「こつこつと書き取りを続けたらテストでいい点が取れた」「クラスの子に優しくしたら友達になれた」など、誰にも必ず頑張ったことがあると思います。ぜひ、頑張った自分をしっかりほめてください。もし頑張りが足らなかったところに気付いたら、それは次の目標にすればよいのです。こうすることで、目には見えないけれど竹のように節ができます。

4月から、学年が一つ進みます。成長した自分を支えてくれた家族や友達、担任の先生に感謝の気持ちをもち、一人一人が自分に自信をもって次の学年に進んでください。

最後に、私の好きな詩を読みます。新年度に向かう皆さんにぜひ聞いてほしい詩です。

やればできる

武者小路実篤

できるできる

真剣になれば できる

できないと思えば できない

できると思えば できる

どこまでも 積極的に

できることはできると信じ

永遠に自分は 進歩したい

できるできる

かならず できる



皆さんには、無限の可能性があります。すぐにはできないこともあります。この詩のように前を向いて進んでいってほしいです。そして、ぜひ自分を好きになってください。そして、これからも自分を大切にしてください。

それでは、風邪を引いたり、けがをしたりしないように気を付けて、よい春休みを過ごしてください。以上で令和5年度修了式の話が終わります。



1年間ありがとうございました

保護者、地域の皆様方には、開学150周年を迎えた今年度も歴史と伝統のある本校の教育活動に、温かい御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

次年度も、子供たちの健やかな成長を願い、職員一同、精一杯努めてまいります。

1年間、ありがとうございました。



福田小学校のHPのQRコードです。

子供たちの学校の様子が載っています。

ぜひご覧ください。

